

# 寂聴「手毬」

## — 良寛と貞心の愛 —

会期 4月8日(日)～5月27日(日) 午前9時30分～午後5時

会場 1階特別展示室・ギャラリー

月曜休館、ただし4月30日は開館

関連事業

● 新井満(作家・作詞作曲家)講演

「千の風に吹かれながら、良寛について想う」 \*要申込

4月21日(土) 午後2時～3時30分(午前11時～午後1時までギャラリーは閉室)

● 展示解説 十新町川クルーズ 十まち歩き

「寂聴ゆかりの場所をめぐる」 \*要申込

4月28日(土) 午前9時30分～午後0時

● 展示解説 十吉野川クルーズ 十寂聴原作人形浄瑠璃

「モラエス恋遍路」鑑賞 \*要申込

5月12日(土) 午後2時～5時

● 朗読会 「『手毬』を読む」

5月19日(土) 午後2時～3時

観覧料

一般 510円(400円)

高・大学生 350円(280円)

小・中学生 250円(200円)

※(一)内は20人以上の団体割引料金

小・中・高校生は上・日・祝日・振替休日は無料。

65歳以上の高齢者と障がい者手帳をお持ちの方は半額。

主催 徳島県立文学書道館

後援 徳島新聞社・四国放送

協力 良寛記念館・柏崎市立図書館・良寛の里美術館・分水良寛史料館

(二社) ツーリズム徳島・徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

あづさゆみはるになりなばくさのいほを

とくでて来ませあひたきものを

良寛



安田鞞彦画「良寛と貞心尼(初対面の図)」良寛記念館蔵

瀬戸内寂聴（1922年）は小説「手毬」（1991年、新潮社）で禅宗の僧良寛と貞心尼の清らかな魂の交歓を描きました。

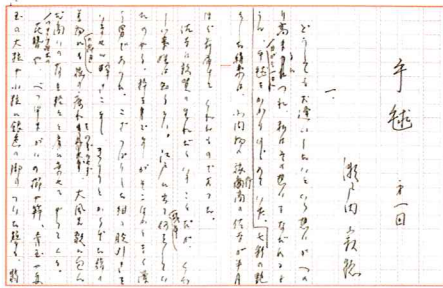
良寛は新潟県出雲崎の名主の家に生まれましたが、家を継がず若くして出家、岡山の円通寺で修行したのち39歳で帰郷。生涯寺を持たず、清貧の中で托鉢をし、住民たちに慕われつつ、後世まで伝わる詩歌と書を残しました。

貞心尼は新潟県長岡の下級武士の家に生まれ、医家に嫁ぐも5年で離別したのち出家。憧れていた40歳上の良寛に出会い、良寛が亡くなるまでの3年余を師として敬慕し、和歌を詠み交わし、のちに良寛歌集『はちすの露』を編みました。

本展では良寛と貞心尼の相聞歌を中心に、寂聴が二人の愛をどう捉えたかを紹介します。また良寛の書と貞心尼の直筆、二人を描いた絵画などを展示し、その生き方や人柄をしのびます。



貞心尼の墓前にて(柏崎市洞雲寺) 勝山泰佑 撮影



「手毬」直筆原稿



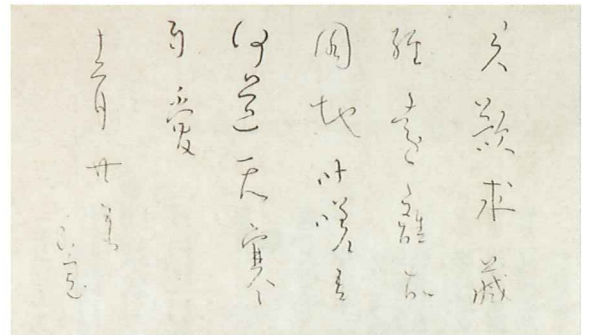
寂聴著『手毬』



中村岳陵画「月下舞踊の図」良寛記念館蔵



貞心尼書『はちすの露』柏崎市立図書館蔵



維馨尼宛て良寛書簡 良寛記念館蔵

そのほか、良寛作品 ●人も三十四を越ては ●ものいふに ●般若心経 ●天満宮 の展示も予定しております。



言の葉ミュージアム  
徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1  
電話088-625-7485 FAX088-625-7540  
ホームページ <http://www.bungakushodo.jp>

関連イベントの申込方法

はがき・FAX・メールのいずれかにイベント名を明記の上、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を記入し、お申し込みください。

当館1階受付でも申し込みます。

\*講演会に手話通訳または要約筆記をご希望の方は、3週間前までに当館までご連絡ください。

交通アクセス(JR徳島駅から)

●徒歩約15分

JR徳島駅西側のポツポツ街を抜けて右折。踏切と助任川を越え、3つめの信号交差点を右折して約300m。徳島中学校東隣。

●バス

[徳島市営バス]

7番乗り場「川内循環(右回り)」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩約5分。

[徳島バス]

2番乗り場「前川経由」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩約5分。

●タクシー・自動車約5分

国道192号線、藍場町交差点を北進。助任川を越え、4つめの信号を右折して約300m。

●駐車場

当館北側にあります(43台、大型バス2台)。



講師プロフィール

新井満(あらい・まん)

1946年新潟県生まれ。作家、作詞作曲家、画家、写真家など多方面で活躍中。88年「尋ね人の時間」で芥川賞受賞。2003年に写真詩集『千の風になつて』を発表。それに曲を付け自ら歌ったCD『千の風になつて』は現在もロングセラーを続けている。同曲で07年レコード大賞作曲賞受賞。良寛関連書としては『良寛と貞心尼の恋歌』、『良寛さんの愛語』などがある。